



## 素晴らしい紅葉でした…シャトルバス終了

今期の紅葉は、残暑の影響もあってピークが遅れ、9月末以降に素晴らしい風景となりました。

シャトルバスは9月23日から10月1日まででしたが、見ごろはもう少し続きそうです。今期は雪の少なさと6月の暑さで例年より2週間以上早い雪解けから始まり、猛暑の影響は山の上でも同様でした。

いつもより早いヒグマの居付き。沼で水浴びするヒグマ、遅れる紅葉。生き物たちはその状況に合わせて、生活場所を変えながら生きていたのだと思います。猛暑の夏でしたが、高根ヶ原には雪は降りはじめ、冬はもうすぐに始まります。



9月20日頃の緑岳。“たすき”と呼ばれる斜面の筋の色づきが段々と濃くなってきました。



ゆっくりでしたが確実に色づきが進む滝見沼。(9月25日)

## 募金ありがとう!!

今期もコース管理のための募金を募り、多くの方々にご支援をいただきました。少しずつ木道を増やし、階段を直し、生態系が崩れないような保全活動を行っていきます。



## 10月8日コース管理終了

沼巡りコースは10月8日（日曜日）で管理を終了し、10月11日には林道のゲートが閉まり通行止めとなります。来年は6月20日頃からコース管理が始まります。またお会いしましょう。

👉 緑沼もいい色合いになりました。

👉 夏の青々としていた風景とは全く異なります。



## 沼巡りのヒグマ達を想って過ごす秋

ヒグマ情報センターの今シーズンの業務も残すところあと10日。

6月半ばのオープンから目まぐるしい大雪山の季節の移ろいと共に巡視員もその季節の流れに乗りあつという間の3か月余りを過ごしてきました。

6月後半から7月いっぱい、ヒグマ情報センタースタッフは高根ヶ原の斜面を中心にヒグマを見ない日の方が少ないという日々を過ごし、多くのヒグマ達の活動を目の当たりにしながら生活してきました。それも8月半ばを過ぎると、あれだけ見られていたヒグマ達の姿も激減・・・ヒグマロスに陥るスタッフも出る中、気が付けば紅葉の9月へ。

こうした目まぐるしさの中で、ヒグマ達は毎年のようにその季節を全身で感じ、その時期ごとの糧を求めて移動しながら、大雪山の季節の巡りとともに生きていて、私達もそれを本当に間近に感じる事ができました。



👉 高根ヶ原斜面も秋の気配...幾ら探してもヒグマ達はもういません...

👉 今、まあおそらくヒグマ達は冬を乗り切るため、ひたすら餌を食べ体力増強中かな？



今、北海道ではヒグマとヒトとの軋轢が取りざたされることもしばしばで、ヒグマとヒト、双方ににわたる問題の強く感じる事が非常に多い気がします。

その中で、ここ沼巡り登山コースではヒグマとヒトとの距離感が保たれている場所だと感じます。

人に近寄ってくるヒグマはまず見られず、人のことを気にせず1ヶ所に停滞していたヒグマ達は居たものの、こちらが適正な距離を保っていれば軋轢を生むことはまずない、そういう関係。

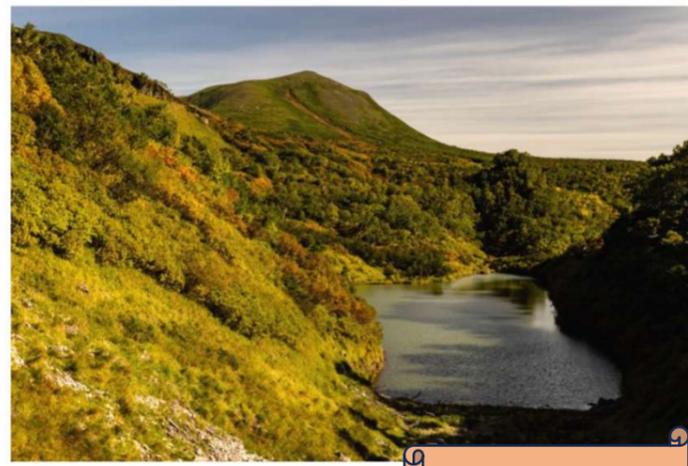
また沼巡り登山コースでは入山前の登山者に例外なくレクチャーを受けてもらってから入山してもらうという国内でもレアな場所。このようにヒグマや彼らを取り巻く自然環境をの理解を深めて、不要な軋轢を避ける。それが彼ら、ヒグマ達の世界にお邪魔する私達登山者の自然へのマナーです。私たちはあくまでお邪魔する立場なのですから。

今年、この沼巡り登山コースを通じヒグマ達の世界を覗かせてもらう季節も終了間近。これまで、レクチャーなどを通じて登山者へヒグマ達への理解を広げられたと願いつつ、センター員はヒグマ達を想いながら大雪山の秋を過ごします。

# 高原温泉沼めぐり 登山コースの様子

高根ヶ原斜面  
2023.09.25

大学沼  
2023.09.25



高原沼  
2023.09.25

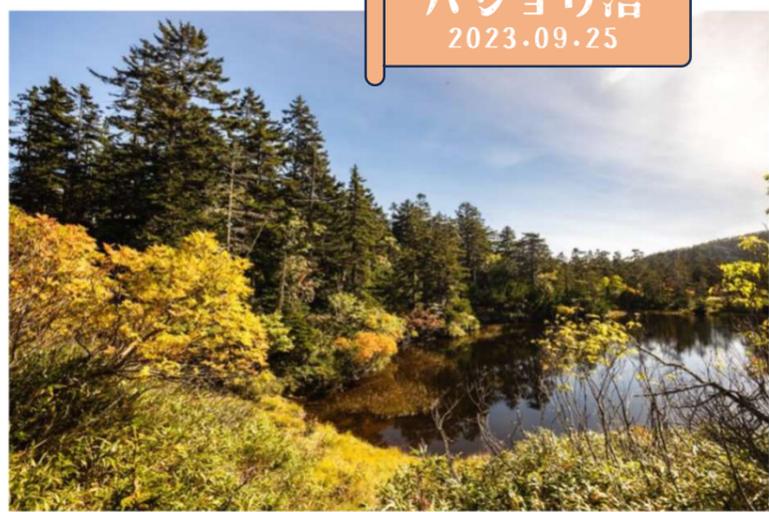
緑沼  
2023.09.25



歩くときは木道や登山道から外れずに！



バショウ沼  
2023.09.25



緑岳のタスキ  
2023.09.21



高原温泉  
ヒグマ情報センター



大雪山国立公園高原温泉  
沼巡り登山コース  
第8号(9月28日)  
発行：ヒグマ情報センター